

【ご注文承ります】

# 中国環境通史 1-4

中国環境科学出版社 / 2021年2月 / 精装 \*各巻分売いたします

自然環境は人や社会の歴史と常に密接に結びつき、相互に影響を及ぼしあいながら連綿と続いてきた。『中国環境通史』は、先史時代から中華民国時期まで数千年におよぶ中国の人と社会と自然環境との関係を全4巻で綴る通史。



## 中国環境通史 1 史前一秦漢

王利華 編著

税込 10,890 円 (468900)

第一巻では先史時代から後漢末までの時期について、大きく三つの観点から叙述する。

- 一、狩猟採集社会から農牧社会への転換
- 二、野蛮社会から文明社会への転換
- 三、都市国家から統一帝国への転換

## 中国環境通史 2 魏晉一唐

王利華 編著

税込 9,680 円 (468901)

第二巻の扱う中古時期は、前時代より文献資料が豊富であり、また生活や活動の領域も拡大され、人と自然との関係にも大きな変化が起こった。そのため第二巻は第一巻とは違った構成をとり、天(気候)、人口、土地、水環境、生物資源(森林や動植物)、食料資源などと自然環境との関係を叙述する。

## 中国環境通史 3 五代十国一明

侯甬堅、聶伝平、夏宇旭 等 編著 税込 14,300 円 (468902)

五代十国・宋(上・下)・遼・金・西夏・元・明の八章に分け、それぞれの時期における自然環境と社会や経済活動の相互作用等について叙述する。

## 中国環境通史 4 清一民国

梅雪芹、倪玉平、李志英 等 編著 税込 10,890 円 (468903)

明清交替の戦乱時期から康乾盛世時期、晚清、民国時期へと目まぐるしく変わっていく歴史の中で、それぞれの時代における人や社会と環境との関係について叙述する。また、第五章では明末以来のアメリカ大陸からの食糧輸入(トウモロコシ、さつまいもなど)が中国の社会と環境に与えた影響について叙述する。

ご注文・お問い合わせ